

置く

里中 智沙

久しぶりに鏡を磨いた日
あまりに奇麗にせかいが映っているから
わたしも問いかけてみたくなった

鏡よ鏡：

でもそのあとが出てこない
世界でいちばん： どころかほんのわずかも
ひとに誇れるものなどないから
尋ねたらきつと
鏡も困るだろう
困って
澄みきった貌を また曇らせてしまうだろう

ごめんね
映しがいのないわたしで
だから
せめて今日
おまえの前に置く

ひと鉢の 真紅の薔薇。